

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるため、天皇皇后両陛下の御臨席を賜るとともに県内外から多くの参加者を迎えて開催される国土緑化運動の中心的な行事です。

本県では、昭和41年に「第17回全国植樹祭」が開催され、この大会を契機に、県土の緑化が進み、豊富な森林資源を背景として、県内の林業や木材産業は大きく発展し、全国屈指の林業・林産県へと成長を遂げました。

一方で、近年の地球温暖化に伴う深刻な気候変動は全国各地で甚大な自然災害をもたらしており、県民の安全・安心な暮らしを支えるための災害に強い森づくりが求められているほか、SDGsや2050年カーボンニュートラルの実現など、森林が有する国土保全や水源かん養、生物多様性の保全や地球温暖化の防止といった多面的機能の発揮による経済的・社会的効果に対して、多方面から大きな期待が寄せられています。

こうした中、令和8年春季に、本県において、60年ぶり2回目となる「第76回全国植樹祭」を開催することとなりました。

当大会では、「育てるけん 伊予の国から 緑の宝」を大会テーマとし、私たちの生活を支える豊かな森林を、一人一人が意識し、先人たちが守り育てた森林を健全な姿で次世代へ引き継いでいくため、森林資源の循環利用や県民参加による森づくりを推進するとともに、全国の方々との「絆」を深める「愛顔（えがお）あふれる大会」とすることとし、県内市町や関係団体との連携を密にして、大会の成功に向けオール愛媛体制で取り組んでまいりたいと考えております。

つきましては、

第76回全国植樹祭を成功させるため、特段の御高配を賜りますとともに、協賛の趣旨に御賛同いただきますようお願い申し上げます。

第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会

会長 中村時広